

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有	
体育学部	教授	手塚洋介			
<b>I 教育活動</b>					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概	要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
(1) 講義における体験型学習の導入		平成19年4月以降	体育心理学関連の講義において、鏡映描写器や連続血圧計などの装置を用いて、日常での気づきが乏しい現象を体験的に理解するための取り組みを導入している。		
(2) オンデマンド型教材における双方向性の確保		令和2年4月以降	コロナ禍後の遠隔授業では動画教材を用いているが、講義の感想や質問に対する回答や解説を翌週の動画内で行うことで、双方向型の授業の実現を心掛けている。		
(3) 令和4年度前期の授業評価アンケート		令和4年7月	対象科目(3科目)の満足度(5点満点)に対する得点が、それぞれ4.1点(健康スポーツ心理学)、4.5点(認知・行動分析論)、4.5点(体育心理学)であった。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
(1) 卒業論文作成マニュアル		平成19年4月以降	国内心理学会に準じて、担当ゼミの学生向けに卒業論文作成マニュアルを独自に作成して使用している。		
(2) 『大阪体育大学教員免許更新講習』		平成23年12月以降	教員免許状更新講習用の教科書のうち、「スポーツ心理学—健康スポーツとしての運動の恩恵と心の健康—」(平成23-24年度)及び「スポーツ心理学—体験型学習による心身相関現象の理解—」(令和元-3年度)について執筆した。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
(1) 進路後援会		令和1年7月11日	香川県立香川中央高等学校にて進路講演会を実施した。		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
(1) 大学教育改善に関する学内委員会活動		平成19年4月以降	これまでに学生委員、FD委員、広報委員、施設検討委員、図書委員、入試委員、学生募集戦略会議の委員を務めた。現在は自己点検・評価委員の他、教務委員長を務める都合、障がい学生支援委員、学習支援室運営委員、キャリア支援委員、学生相談室運営審議会の委員を務めている。また、選挙を通じた基本問題検討会議の委員にも選出されている。令和3年度には、学長直轄のカリキュラム改革タスクフォースの委員を務めて、学部改組に取り組んだ。		
(2) 高校生向け授業		平成20年3月以降	学内においてオープンキャンパスでの体験授業を7回、トークライブを1回、来学した高校生への授業を6回担当した。また、高等学校に出向いての授業を6回担当した他、オンラインにて高校生と中学生から探求型授業を通じたインタビューを各2回受けた。この他、進路講演会の講師を1回務め、夢ナビのHP上での講義と講義ライブを各1回担当した。		
(3) 大学が主催する公開講座等		平成22年8月以降	スポーツを実施する子どもの保護者向けの講座(子どもたちのメンタル面開発)を2回、高齢者向けの講座を3回(加齢に伴う心の変化と運動の役割)、教員免許状懇親講習を4回、それぞれ担当した。		
(4) 他大学での講演等		平成22年8月以降	大阪樟蔭女子大学公開講座「心理学の現場」において講師を務めた(平成22-25年度)。また、聖カタリナ大学公開講座「幸福づくりのヘルスプロモーション」において高生を務めた(平成27年度)。		
(5) 学外団体での講師		平成21年10月以降	財団法人日本体育協会公認上級指導員養成講習会の講師を10年間務めた(平成21-30年度)。また、OSAKAスポーツ大学の講師を平成23年に務めた。平成27年から現在まで、大阪府高齢者大学の講師を務めている。		
<b>II 研究活動</b>					
著書(単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
感情制御の精神生理学——快不快の認知的評価——	手塚洋介	124頁	ナカニシヤ出版	京都市, 日本	平成30年2月
著書(共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初(始)頁~終頁	発行所	発行地	発行年月
スポーツと感情・健康スポーツ心理学の基礎・論文・レポートの書き方/これから学ぶスポーツ心理学改訂版	手塚洋介/荒木雅信・山本真史	66~69頁・112頁~123頁・177頁~178頁	大修館書店	東京都, 日本	令和5年3月
感情制御研究の系譜(1章)、感情制御の精神生理学(2章)/感情制御ハンドブック——基礎から応用そして実践へ——	飯田沙依亜・榊原良太・手塚洋介(1章)、手塚洋介・森岡陽介(2章)/飯田沙依亜・榊原良太・手塚洋介	415頁	ナカニシヤ出版	京都市, 日本	令和4年2月
パフォーマンス不調/ガードナー臨床スポーツ心理学ハンドブック	手塚洋介/佐藤寛・金井嘉宏・小堀修(監訳)	91頁~107頁	西村書店	新潟県, 日本	平成30年5月
原著論文(審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
査読者視点からの論文執筆セミナー——採択される論文を書くには——	山川香織・木村司・伏田幸平・森本文人・井澤修平・木村元洋・手塚洋介・入戸野宏	生理心理学と精神生理学	40	218頁~233頁	令和5年2月

心臓血管反応の持続に及ぼす評価懸念の影響——回復性研究における評価的観察を伴うスピーチ課題の有用性——	手塚洋介・鈴木直人	生理心理学と精神生理学	36	15頁～27頁	平成30年
The differences between winners and losers in competition: The relation of cognitive and emotional aspects during a competition to hemodynamic responses.	Yamaguchi, D., Tezuka, Y., & Suzuki, N.	Adaptive Human Behavior and Physiology	5	31頁～47頁	平成30年12月

総説					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月

その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
	心臓血管系血行動態からみたアスリートの感情	単 手塚洋介	心理学ワールド	99	24頁～25頁	令和4年10月
	スポーツパフォーマンスと感情——精神生理学からのアプローチ——	単 手塚洋介	臨床心理学	20	279頁～282頁	令和2年5月
	21世紀における生物心理社会モデル	単 手塚洋介	臨床心理学	19	739頁～742頁	令和元年11月
	ネガティブ感情の機能と構造——緊張からみた感情の科学的理解と実践的活用に向けて——	単 手塚洋介	体育の科学	69	570頁～574頁	令和元年8月
	特集こころとからだ	単 手塚洋介	心理学ワールド	84	4頁	平成31年4月
	健康の精神生理学	共 手塚洋介・長野祐一郎	生理心理学と精神生理学	36	1頁～4頁	平成30年
	運動療法の心理的恩恵——感情に注目した運動の効果——	単 手塚洋介	日本臨床運動療法学会誌	19	1頁～3頁	平成30年8月

学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)					
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国内(シンポ)	令和4年5月	第40回日本生理心理学会大会・日本感情心理学会第30回大会 合同大会2020	感情制御研究の最前線——基礎から応用そして実践へ——	関西学院大学, 兵庫県	手塚洋介・飯田沙依亜・榊原良太・野崎 優樹・浜名 真以・高田 琢弘・浦野由平・則武良英・小林亮太
国内(シンポ)	令和3年5月	第39回日本生理心理学会大会	心臓血管系血行動態に反映されるアスリートの感情とパフォーマンスの関係／スポーツと生理心理学 (第38回大会から第39回大会へのバトン)	日本大学 (オンライン)	手塚洋介／坂田省吾・依田麻子・正木宏明・長谷川博・手塚洋介
国内(シンポ)	令和元年9月	日本心理学会第83回大会	競技スポーツにおけるネガティブ感情の機能／社会生活におけるNegativityのポジティブサイド	立命館大学, 大阪府	手塚洋介／友野隆成・上原俊介・手塚洋介・福野光輝・福島治
国内(シンポ)	平成30年9月	第26回日本行動科学学会年次大会／日本心理学会第82回大会	研究活動の行動科学——研究の継続要因を探る——	仙台国際センター, 宮城県	友野隆成・小城英子・川上正浩・坂田浩之・布施光代・丸山真名美・小塩真司・手塚洋介

科学研究費等の取得状況

科学研究費／その他の助成金／外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)
科学研究費	研究成果公開促進費	感情制御の精神生理学：快不快の認知的評価	代表	平成29年度	700,000

特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

### Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成31年4月～令和3年3月	日本感情心理学会 常任理事, エモーション・スタディーズ編集委員長, 学術プログラム委員, 倫理委員
平成28年5月～現在	日本生理心理学会 評議員
平成28年4月～令和3年3月	日本行動科学学会 行動科学編集委員
平成27年9月～令和元年6月	公益社団法人日本心理学会 心理学ワールド編集委員
平成26年4月～令和2年8月	日本スポーツ心理学会 資格認定委員会会計監査
平成25年2月～令和5年3月	公益社団法人日本心理学会 代議員
社会的活動	
平成27年～現在	大阪府高齢者大学校講師
平成25年～平成30年	(財)日本体育協会公認上級指導員養成講習会講師

IV 管理活動				
期 間		内 容		
委員会活動				
令和3年4月～令和5年3月		全学：自己点検・評価委員会，全学教務委員会，障がい学生支援委員会，学習支援室運営委員会，キャリア支援委員会，学生相談室運営審議会 学部：基本問題検討委員会，自己点検・評価委員会，人事審査会議，予算委員会，教務委員会（委員長），カリキュラム改革タスクフォース 大学院：学生委員会，自己点検・評価委員会		
平成31年4月～令和3年3月		全学：自己点検・評価委員会，全学教務委員会，障がい学生支援委員会，学習支援室運営委員会，キャリア支援委員会，学生相談室運営審議会 学部：自己点検・評価委員会，人事審査会議，予算委員会，入試委員会，教務委員会（委員長） 大学院：自己点検・評価委員会（委員長）		
V クラブ活動の指導業績				
1. 指導クラブ名	部	2. 役職	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	選択 ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない			
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択 ① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択 ① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み	選択 ① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所	
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）				
開催期間	大会名	成績	場 所	
VI 賞罰（職務に関する賞罰）				
年 月	受賞等機関名	内 容	備 考	